

長雨で稲刈りは 悪戦苦闘

今年の稲刈りは、長雨がたたって悪戦苦闘——。稲は不規則に倒れ、田はぬかり、コンバインは思うように動かず、いつもの年よりも3、4倍の時間と労力がかかったところもありました。農家の皆さんは、「これでは収穫は期待できませんね」と顔をくもらせていました。



倒れた稲をおこしながらの稲刈り



月下美人の奢りつかの間

色冴えて咲き乱れるコスモスや
別荘の人等帰りし庭に
向後 泰治

心なき世辞をいひしよ店閉すと
シャッター降ろす日暮れてひとり
齊藤 幸子

鶏頭のこぼれし種が咲きみちて
み祖の墓は昏れて明るし
佐瀬 初音

それぞれの思ひ幻の炎となりて
流し灯籠川面をゆけり
那須 清江

車窓より吹き入る風は貰ひ来し
メロン香らす袋の中ゆ
萩原 信一

青春の短かく燃えし時に似て
北田 ふじ

伊藤 美穂

脈拍のひびきを指に数へをり
二万八千日打ちつぎし音

時折は水面に頭もたげつつ
鱈の幾群早瀬をのぼる
津田 若菜

秋深み朽ちし川杭乾ききて
あきつが止まりせきれいも来る
土屋 栗水

祖母締めし繻子の輝きうせぬ帯
わが手によりて日に干されをり
藤代 ゆう

ひと歳しの夢一瞬におし流し
大雨去りたり農夫死したり
齊藤 要

鈴虫の雄雌の行爲のしつけさを
明けの光の中のみてをり
(選者) 齊藤つね子

伊藤 美穂

私のひとこと



現在私の地区には、「昭和会」という若者達の会があります。会員57人程ですが、そのまとも役に微力ながらも籍を置かせていただいております。

活動主体は、何事にも地域の縁の下の力持ちとして参加しております。

年中行事としての「夏祭り」は、昭和会の大なる力を必要としております。

しかし、大勢の若者の「足」を奪うには、一口では言えない苦勞があります。いかにしたら私より10も20も若い者達を引っ張っていくことができるか、また、皆さんがついて来てくれるか。実行に移すまでは不安が体中を駆け巡ります。私は口べたな方なのですが、若者達との会話を大切に、また楽しんで聞くことにしています。幸いにも

若者達との「輪」

伊東 賢 (新島新田)

んなが心よく協力し、また働いてくれます。また、私は地区の野球のコーチもやっております。毎月第1、第3土曜日には必ず集まりを持つように心がけております。農家の方やサラリーマン、職業はさまざまですが、集会には一体となって話し合いの「輪」を持ちます。それぞれ性格が違う者達の集まりなので、一つにするには、「口」よりも「耳」を働かせる場合が多くなります。しかし、私の地区の若者達は良くやってくれます。

これからも個人個人の声を尊重し、あらゆる話し合いの場を持つて多くの若者達とのふれ合いを大切に、オーバーではあります。ある時は鬼になり、ある時は神様となって、皆様と共に大きく成長して行きたいと思っております。

「昭和会」と共に地区の発展に少しでも役に立てれば幸いです。